

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 11 日現在

機関番号：14401
研究種目：基盤研究(B)
研究期間：2009～2013
課題番号：21320029
研究課題名(和文) イディッシュ語文化圏における芸術活動の研究

研究課題名(英文) Arts in Yiddish Culture

研究代表者

園府寺 司 (Kodera, Tsukasa)

大阪大学・文学研究科・教授

研究者番号：50205340

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,400,000円、(間接経費) 4,020,000円

研究成果の概要(和文)：東欧イディッシュ語圏における諸芸術の活動についてはこれまで断片的な研究しか行なわれてこなかった。本研究は、美術、文学、上演芸術などにおいてイディッシュ語圏でどのような芸術活動が行われてきたのかを解明する日本初の試みである。イディッシュ語、ヘブライ語研究会のような基礎的研究を行ないつつ、諸芸術のありかたについて掘り下げた研究を進めることができた。この研究により、画家シャガールやスーティンを生み出した文化、クレズマー音楽やカフカを生み出した文化圏の様相と、それらが近代芸術に及ぼした影響について、少なくとも日本においては最初のまとまった研究を行なうことができた。

研究成果の概要(英文)：On arts in the Yiddish Culture only sporadic investigations had been made. The present study was the first attempt in Japan to approach to fine-arts, literature and performing arts in Yiddish Culture. Starting from the basic understandings of Yiddish and Hebrew languages, deeper investigations have been accomplished in the study of arts in this area. The result was the first comprehensive investigations of the culture from which Chagall, Soutine or Klezmer music were born and of its influence on modern art in general.

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：哲学 美学・美術史

キーワード：イディッシュ 東欧 美術史 ユダヤ

1. 研究開始当初の背景

近代美術史上におけるユダヤ人の役割については、ユダヤ美術史を編もうとするイスラエルの研究者、アメリカの主にユダヤ系の研究者によって近年になってから研究が開始されていた。しかし、ごく一部の研究者を除けば、イディッシュ語、ヘブライ語ならびにこれらの言語にまつわる文化にも通暁する研究者はごく一握りでしかなかった。ヘブライ語はイスラエルという言語のパトロンを得たが、イディッシュ語はこれまで一度として国の公用語になったことのない言語であり、言語の学習システム自体が不備で、その習得が非常に難しい。さらに今日もなお、芸術の歴史は「国」の物語りとして語られる。そのような状況が、この領域の研究を遅らせてきた。

しかし、イディッシュ語圏出身の芸術家、あるいは親がイディッシュ語圏からの移民であったという芸術家は、特に 20 世紀に入ってから極めて多い。シャガール、スーティンらをはじめとするエコール・ド・パリの画家、その周囲にいた批評家、画商、アメリカ抽象表現主義のバーネット・ニューマン、マーク・ロスコ、批評家クレメント・グリーンバーグら、その数と重要性は無視できるものではない。

そこで、ヘブライ語、イディッシュ語を含めた言語ならびにこれらの言語圏の文化を修得することから始め、近代美術史上でまだ語られていない大きな物語りにアプローチをする必要があった。

2. 研究の目的

本研究は、中東欧のイディッシュ語文化圏における芸術活動、ならびに 19 世紀末から 20 世紀中期にかけてのポグロムによって西欧やアメリカに亡命、移住したイディッシュ語文化圏出身の芸術家たちを主たる研究対象とし、この国家なき言語文化圏の藝術の様相を明らかにするとともに、それらが近代美術史の中で果たしてきた役割を明確にすることを目的とする。

3. 研究の方法

1) ヘブライ・イディッシュ語/文化の研究会

を定期的に行ない、これらの言語ならびに言語圏の文化についての理解を深める。

2) 研究分担者が各研究領域において独自の調査・研究を進め、それらの情報、成果を共有しあう。本研究は学際的な正確をそなえた総合的研究であり、異分野間での情報共有は重要である。なお、研究のアプローチ方法は、作品研究、歴史研究、アーカイブ調査等、各領域においてもっとも効果的な成果をもたらすものを選択する。

3) 口頭発表、論文、著書などの形で成果を学会ならびに一般社会に公表する。

4. 研究成果

ヘブライ・イディッシュ語/文化の研究会の継続により、これらについての能力ならびに理解は高められた。また、美術、上演芸術、文学などの諸ジャンルにおいて、独自の研究をすすめ、その成果を得た。

美術においてはシャガールをはじめとする近現代のユダヤ系画家、ならびに画商や批評家についての一定の成果を得た。たとえば、シャガールはイディッシュ語を母語とした画家であるが、これまでイディッシュ文化圏のコンテキストでこの画家が論じられたことは国内ではこれまでなかった。また、国際的な研究史から見ても、たとえばシャガールがどのようにしてユダヤ性を抜き去られた形で美術マーケットならびに美術展マーケットで受容されていたかということは、従来のシャガール観を変える大きな発見であったといえよう。

上演芸術では東欧のクレズマー音楽、民族音楽についての著書、論文において、特に日本においては知名度の低いこれらの音楽作品とそれらを生み出したイディッシュ文化について、研究者ならびに一般読者に対して新しい情報を提供できた。

また、イディッシュ文学については、研究の他、世界的に著名なショーレム・アレイヘムの『牛乳屋デヴィエ』やノーベル賞受賞者アイザック・バシエヴィス・シンガーの作品集『不浄の血』等の翻訳も出版し、学会ならびに一般社会におけるイディッシュ文化の理解を推進できた。

研究成果の一部は国外での学会でも発表し、国際的な研究にも寄与する一方、日本における関心を高めるために必要な啓蒙的書籍も行った。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計8件)

Toshino Iguchi, Avant-garde Design Beyond Borders: The Slovenian Constructivist Avgust Černigoj, Proceedings of International Association of Societies of Design Research 2009査読有、頁記載なし

三谷 研爾「展示された文学史 ブラハのドイツ語文学 とそのベルリン展(1995)の射程」『待兼山論叢 文学編』43巻 2009年 1-20頁 査読無

黒田 晴之「シャガールの描いた楽士はどんな音楽を演奏したか(3) あるいはロシア革命前後のユダヤ人が展開した音楽について」『言語文化研究』(松山大学) 29巻1号 2009年 1-42頁 査読無

伊東信宏「中欧の作曲家としてのリゲティ: 「規範」とのこじれた関係」『思想』2012年4月号 262-277頁 査読無

伊東信宏 『バルトークの民俗音楽編曲』大阪大学出版会 2012年

伊東信宏「バルトーク《子供のために》をめぐって」細川周平編『民謡からみた世界音楽: うたの地脈』、ミネルヴァ書房 2012年 319-334頁

黒田晴之「イーデルゾーンの目指した「ユダヤ音楽」「モダニティー」のなかのユダヤ音楽学誕生」『立命館大学国際言語文化研究』25-4, 47-60 頁,2014 査読無

西成彦「ラファエル・フェルドマン ヤンとピート」『立命館文学』635号、2014年、128-133頁 査読無

[学会発表](計3件)

Tsukasa Kodera, Jewish Immigrants from Europe to the Far East and their Impact on the Japanese Arts, The Fifteenth World Congress of Jewish Studies, August 6, 2009, Hebrew University, Jerusalem, Israel

Toshino Iguchi, Avant-garde Design Beyond Borders: The Slovenian Constructivist Avgust

Černigoj, International Association of Societies of Design Research, October 20, 2009, Coex, Seoul KOREA

Mitsuharu Akao, Russia as the Land of the Ecile of Eciles: Commemoration of the Survival of Judaism in Soviet-Russia in the Geo-Theology of Chabad-Lubaritch Hasidism, Association for Jewish Studies, December 16, 2012, Chicago Sheraton Hotel.

[図書](計9件)

三谷 研爾 『世紀転換期のブラハ モダン都市の空間と文学的表象』三元社 2010

園府寺司 編著『ああ、誰がシャガールを理解したでしょうか? 二つの世界間を生き延びたイディッシュ文化の未裔』大阪大学出版会 2011年。

黒田晴之 『クレズマーの文化史』人文書院 2011年

井口壽乃(監修) 『モホイ・ナジ/イン・モーシヨン』アートアンテル 2011年

赤尾光春(共著) 『シオニズムの解剖』人文書院 2011年

園府寺司 三谷研爾 伊東信宏 編『コンフリクトのなかの芸術と表現』大阪大学出版会 2012年

西成彦 訳 アイザック・ハシェヴィス・シンガー著『不浄の血』河出書房新社 2013年

井口壽乃、加須屋明子、『中欧のモダンアート ポーランド、チェコ、スロヴァキア、ハンガリー』彩流社 2013年。

三谷研爾 『境界としてのテクスト カフカ・物語・言説』鳥影社 2014年。

[産業財産権]

出願状況(計0件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
出願年月日:
国内外の別:

取得状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

園府寺 司 (KODERA TSUKASA)
大阪大学・大学院文学研究科・教授
研究者番号：50205340

(2) 研究分担者

西 成彦 (NISHI SHIGEHICO)
立命館大学・大学院先端総合学術研究科・教授
研究者番号：40172621

井口 壽乃 (IGUCHI TOSHINO)
埼玉大学・教養学部・教授
研究者番号：00305814

伊東 信宏 (ITO NOBUHIRO)
大阪大学・大学院文学研究科・教授
研究者番号：20221773

池田 祐子
独立行政法人国立美術館
京都国立近代美術館・学芸課・主任研究員
研究者番号：50270492

三谷 研爾 (MITANI KENJI)
大阪大学・大学院文学研究科・教授
研究者番号：80200046

加須屋 明子 (KASUYA AKIKO)
京都市立芸術大学・美術学部・准教授
研究者番号：10231721

赤尾 光春 (AKAO MITSUHARU)
大阪大学・大学院文学研究科・助教
研究者番号：90411694

永田 靖 (NAGATA YASUSHI)
大阪大学・大学院文学研究科・教授
研究者番号：80269969

黒田 晴之 (KURODA HARUYUKI)
松山大学・経済学部・教授
研究者番号：80320109

片淵 悦久 (KATAFUCHI YOSHIHISA)
大阪大学・大学院文学研究科・准教授
研究者番号：30278147

(3) 連携研究者

()

研究者番号：